

No.  
51

2018年8月3日  
発行

### おもな内容

平成30年第2回西海市議会定例会……………	P2
常任委員会審査報告……………	P3~P4
一般質問……………	P5~P10
全国市議会議長会表彰状伝達式……………	P11
NBCデータ放送の紹介……………	P12
市民の声……………	P13
議会クイズ、編集後記……………	P14

# 議 会

だ  
よ  
り

The SAIKAI  
Municipal  
Assembly  
News

あらかぶバス停が  
約20年ぶりのお色直し  
(崎戸町蛸ノ浦バス停)



# 平成30年第2回西海市議会定例会

会期：平成30年6月8日～6月21日（14日間）



第2回西海市議会定例会で審議された議案等は、市長提出議案24件（報告案件14件を含む）です。  
委員会に付託された議案は、各委員会において審査されました。

【付託内訳】

予算決算常任委員会……………	1件
総務文教常任委員会……………	2件
産業建設常任委員会……………	3件
厚生常任委員会……………	4件

市政一般質問は6月12日から14日までの3日間行われ、12人の議員が質問に立ちました。（市政一般質問の概要については、5ページから10ページに掲載。）

閉会中の継続調査は、総務文教常任委員会から「公有財産の利活用について」、「防災計画について」、産業建設常任委員会から「本市におけるふるさと納税の現状について」の申出があり、決定されました。この議会閉会中の継続調査については、調査終了後に議会日より報告します。

## 平成30年第2回西海市議会定例会で審議した案件及び結果

議案番号	件名	付託委員会等	議決の結果
報告第5号	社会教育課公用車の事故に係る損害賠償の額を定め、和解することについての専決処分の報告について	本会議	報告済み
報告第6号	西海市税条例の一部を改正する条例の制定に係る専決処分の承認について	本会議	承認
報告第7号	西海市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定に係る専決処分の承認について	本会議	承認
報告第8号	平成29年度西海市一般会計補正予算（第6号）の専決処分の承認について	本会議	承認
報告第9号	平成29年度西海市簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）の専決処分の承認について	本会議	承認
報告第10号	平成29年度西海市下水道事業特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認について	本会議	承認
報告第11号	平成29年度西海市工業団地整備事業特別会計補正予算（第3号）の専決処分の承認について	本会議	承認
報告第12号	平成29年度西海市水道事業会計補正予算（第4号）の専決処分の承認について	本会議	承認
報告第13号	平成29年度西海市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	本会議	報告済み
報告第14号	平成29年度西海市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	本会議	報告済み
報告第15号	平成29年度西海市水道事業会計予算の繰越額の使用に関する計画について	本会議	報告済み
報告第16号	西海市障がい者基本計画の策定について	本会議	報告済み
報告第17号	平成28年度決算に係る財務書類4表の報告について	本会議	報告済み
報告第18号	平成29年度西海市工業団地整備事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	本会議	報告済み
議案第39号	財産の取得について	総務文教	原案可決
議案第40号	財産の無償譲渡について	総務文教	原案可決
議案第41号	ふるさと西海応援寄附金条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設	原案可決
議案第42号	西海市崎戸港ターミナルビルの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設	原案可決
議案第43号	西海市横瀬港湾ターミナルの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設	原案可決
議案第44号	西海市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	厚生	原案可決
議案第45号	西海市医療検討委員会条例の一部を改正する条例の制定について	厚生	原案可決
議案第46号	平成30年度西海市一般会計補正予算（第1号）	予算決算	原案可決
議案第47号	西海市税条例の一部を改正する条例の制定について	厚生	原案可決
議案第48号	工事請負契約の締結について（西海市西海クリーンセンター解体工事）	厚生	原案可決

総務文教常任委員会

総務文教常任委員会では議案2件の審査を行いました。主な審査の概要は次のとおりです。

議案第39号 財産の取得について

原案可決

この議案は、佐世保市消防局東消防署大崎出張所に配備しているはしご車を、13メートル塔体付消防ポンプ自動車に更新するものです。

質疑

ポンプ車の能力は。

答弁 塔体は4階まで到達できる高さになる。放水及びケージでの救出も可能となる。

質疑

はしご車をオークションにかけるとは可能か。

答弁 西海市にプラスになるよう



更新が予定されているはしご車

な形で検討し、実施したい。

質疑 はしご車から塔体付消防ポンプ自動車に替える理由は。

答弁 安価で使い勝手の良い車両であり、アームの先にバケットがついているため救出作業にも適している。

質疑

塔体付消防ポンプ自動車の仕様を決定するにあたり、佐世保市消防局との打ち合わせは行ったのか。

答弁 佐世保市消防局と打ち合わせを行い、仕様書を作成した。

議案第40号 財産の無償譲渡について

原案可決

この議案は、教職員住宅であった旧西海地区天久保住宅について、同住宅の目的外使用と市の借地を解消するため、当該入居者に無償譲渡するものです。

質疑

西海市が負担する解体する場合の費用は。

答弁 住宅建築課の試算では122万4000円である。

質疑

地主への譲渡はできなかったのか

答弁 西海市・地主・借家人の三者面談での協議で合意したものである。

産業建設常任委員会

産業建設常任委員会では条例案3件の審査を行いました。主な審査の概要は次のとおりです。

議案第41号 ふるさと西海応援寄附金条例の一部を改正する条例の制定について

原案可決

この議案は、江島、平島及び松島の暮らしの支援に資する事業の充実を図るため、寄附金の用途の追加を行うものです。

質疑 寄附者に対し希望用途のアンケートをしているようだが、貴重な寄附金の用途について、寄附者に対するフィードバックをしているか。

答弁 寄附者個々に対してフィードバックはしていないが、どのような事業に活用したかについてはホームページで公表している。

質疑 ふるさと西海応援寄附金と地域商社との関わりはどのようになっているか。

答弁 ふるさと西海応援寄附金のシステムそのものの中には入っていないが、観光協会へ委託している事業との関わりなどを勘案し、今後地域商社も有効に利用したい。

地域商社とは、地域の多くの関係者を巻き込み、農水産物などの地域の商材に即してマーケティング・販路開拓を行い、その収益と市場の生の声を生産者にフィードバックする。

その後段階を追って、他地域との連携、観光等異文化との連携なども進め、域外から投資を呼び込めるようなビジネスモデルをプロデュースする。

西海市においては、株式会社西海

クリエイティブカンパニーが、前述した事業を手掛けている。

議案第42号 西海市崎戸港ターミナルビルの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

原案可決

この議案は、公有水面を埋め立てて造成したターミナルビルの敷地の表示登記がなされたことに伴う変更と、公の施設の管理について指定管理者制度が導入されたことに伴い管理委託に関する規程を削除するものです。

議案の審査すべき趣旨とは直接関連が低いものの、当該ターミナルビルの開館状況について質疑が多く上がりました。現状は、フェリーの運航終了後の午後3時半に施錠されますが、バス利用者や周辺住民の利便性向上などの観点から、できる限り遅い時間まで開けるよう協議を行っていることを確認しました。



崎戸港ターミナルビル

厚生常任委員会

厚生常任委員会では、条例案3件、契約案1件について審査を行いました。主な審査の概要は次のとおりです。

**議案第44号 西海市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例について**  
原案可決

本議案は、国の法律の一部改正に伴い、放課後児童支援員の資格要件について「学校教諭となる資格を有する者」を「学校教諭の免許状を有する者」と改め、また、高等学校卒業資格を有さない者も、放課後児童健全育成事業の実務経験が5年以上あれば支援員の基礎要件を満たすこととするものです。

**質疑** この改正により、支援員の資格を有する者が市内にいるか。

**答弁** 市内放課後児童クラブにアンケートを取ったが、現在、条例改正に伴い資格要件を有することとなる者はいない。

**議案第45号 西海市医療検討委員会条例の一部を改正する条例の制定について**  
原案可決

本議案は、西海市内の医療供給体制を検討し構築を図るため、条例の一部を改正するものです。

**質疑** 救急搬送体制のことについても医療検討委員会において検討するのか。

**答弁** 本委員会のオブザーバーを消防局にお願いし、救急搬送体制についても具体的に進めていければと考えている。

**質疑** 地域包括ケアについても並行して進めることが極めて重要であると考えらるが。

**答弁** 本委員会については、市民が安心して医療を受けることができる医療供給体制の構築を目的としているが、地域包括ケアとも常に連携していくべきと考えている。



**議案第47号 西海市税条例の一部を改正する条例の制定について**  
原案可決

本議案は、生産性向上特別措置法に基づき、中小企業の設備投資を後押しする支援として、償却資産に係る固定資産税について、最初の3年間税額を軽減するよう条例の一部を改正するものです。

**質疑** 条例の施行により、どの程度の影響があるのか。

**答弁** 年間5件の申請があり、1件あたり500万円の設備投資をした場合、3年間で68万円の税額が軽減される。ただし、軽減額については75%が交付税で措置されるため、実

質17万円の軽減額となる。

予算決算常任委員会

予算決算常任委員会では、補正予算案1件の審査を行いました。

**議案第46号 平成30年度西海市一般会計補正予算（第1号）**  
原案可決

補正前の歳入歳出総額	198億2923万円
補正後の歳入歳出総額	198億9641万9千円
補正額	6718万9千円

主な事業の補正額

- 一般コミュニティ助成事業 **390万円**  
自治会活動に使用する備品等の整備や更新に対して補助金を交付するものです。
- 長崎県研究指定校委託事業 **67万5,000円**  
長崎県教育委員会から研究指定委託を受け、研究を行うものです。
- 西彼多目的運動公園園路擁壁改修事業 **4,813万8,000円**  
西彼多目的運動公園園路擁壁周辺に亀裂が発生し、一部が隣接する調整池に崩壊する恐れがあり、利用者の安全確保を図るため改修工事を行うものです。

**歳入**  
**質疑** ホテル咲き都等の売却先が支払うとされている借地料が発生していると思うが、予算計上はどうなっているのか。

**答弁** 借地料については現在調整中であり、賃貸借契約は締結できていないため、予算計上はしていない。

**質疑** 民生費国庫補助金の生活困窮者就労準備支援事業費等補助金を増額しているが、対象者が増える見込みなどによるものか。

**答弁** 生活保護システム改修に伴う国庫補助分の補正である。対象者の増加によるものでない。

**歳出**  
**質疑** 一般コミュニティ助成事業補助金2件分の内訳は。

**答弁** 黒口蛇踊り保存会の長胴太鼓の整備、江島公民館の住民参加イベント用備品購入の2件が対象となる。

**地方債**  
**質疑** 合併特例債の発行可能額は、あといくらか。

**答弁** 今回の6月補正後時点で21億1490万円が発行可能である。合併特例債は、平成の大合併による新市町村建設計画の事業費として、特例的に起債できる地方債である。合併当初の発行可能額は、212億5840万円だった。



# 一 般 質 問



おとし 岩本 議員  
いわもと とし 利雄

## ▼職員力・組織力の向上を図れ

**問** 本市は急速な人口減少と少子高齢化のなかで、定員適正化計画によって職員数は大幅に減少し、そのうえ地方交付税は今後一本算定となり、財政はますます厳しくなることが予想される。これらの逆境を跳ね除けて「活躍のまち さいかい」を実現するために、本市職員には強い職員力と組織力が求められている。

職員力・組織力向上のためには、職員に対する市長の動機付けが必須である。ここでいう動機付けとは、本市が目標とする職員像・組織像へ早く近づけること、職員のやる気を出させることを意味している。

市長は就任後1年が経過したが、就任後から現在まで、職員に対してどのような動機付けを実施してきたか。

**市長** 市長就任時に、変わるということを選択した私と市民の思いを、直接的に政策を遂行する職員に「西海市の行政を任された職員であるという自覚を持ち、市民の幸福は職員自身の幸福であることを、しっかりと

心に刻んで欲しい。」と伝えている。

4月の機構改革に併せ、専門職として商品開発や販路拡大を推進する西海ブランド振興担当理事と、危機管理体制の強化を図る地域防災マネージャーを採用した。これは、施策の推進はもちろんのこと、これまでの経験と知識を存分に発揮していただくことで、職員にも良い刺激を与え、職員の人材育成にもつながると考えている。また、部局ごとに政策的意見交換会を実施し、本市が抱える喫緊の課題や主要事業の進捗状況について各部局との間で情報を共有するとともに、今後の主要事業の推進に向けた意見交換等を行い、職員の自覚とやる気を喚起したところである。



西海市役所

## ▼急傾斜地崩壊対策について

**問** 国の交付金を受け県が実施する急傾斜地崩壊対策事業の採択基準のひとつに、おおむね人家10戸以上とあるが、市の地域防災計画に避難路を有する場合は5戸に緩和される。これを活用してはどうか。

**市長** 今後、避難路が指定され、事業採択基準に該当し、5戸以上でも県事業として実施できる箇所があれば県と協議を行いたい。

## ▼離島のイノシシ対策について

**問** 離島では捕獲殺傷したイノシシの埋設作業に苦勞している。埋設作業や道路の落石除去のため、ミニショベルの購入費用を補助できないか。

**市長** 江島・平島・松島で年平均260頭のイノシシを捕獲し、ほとんど埋設している。平島にも埋設箇所整備費を措置する。提案の補助制度は地元と協議しながら検討する。

## ▼漁船の係留施設について

**問** 瀬戸港の焼島地区は台風接近時など、岩場を代用して係留する必要がある。向島地区の堤防は高潮が



こえい 瀬戸 議員  
ふちせ えい 栄子

越えるので、補修を求めていたが。

**市長** 県に確認したところ、焼島地区は実態把握中。向島地区は現状確認しているが、補修は未定。市として早期の補修を要望していく。

## ▼風力発電について

**問** (仮称) 西海江島洋上風力発電事業は、環境保全など関係者の理解を得ながら進めるべきではないか。

**市長** 風力発電の推進が第一義ではなく、島の存続、地域振興の手段として活用を考えている。



右：焼島地区の瀬戸港  
左：焼島地区の瀬戸港で船の係留に使用している岩場





# 一般質問



たがわまさき 議員  
田川 正毅

## 医療体制の充実を図れ

**問** 定住人口の維持・増加のためには、医療の充実が喫緊の課題である。現状認識と課題を伺う。

**市長** 西海市内の医師の平均年齢は60歳、医療機関数は病院2か所、一般診療所24か所であり、医療・介護における人材不足が深刻である。最大の課題は二次・三次の救急医療機関がないことであり、対策として搬送時間の短縮に努める。地元医師会や医療機関関係者との連携・協力を強化し、長崎県自治体病院等開設者協議会でも問題点を見出し、解決したい。

**問** 運転免許の返納などで医療機関への通院の不安が増している。コミュニティバスの運行や通院費用の助成制度を導入する考えはないか伺う。

**市長** 長崎県警でも運転免許証返納者に対する支援の在り方を検討するため、自治体と各警察署で連絡協議会を開催する。通院費用の助成は他市町の施策を参考に、現行の介護保険サービス受給者・障がい者手帳

所持者に対する交通費助成事業との調整も併せて検討する。コミュニティバスについては西海市全域での運行から、旧町単位の運行に方針を修正する。

**問** 新設された医療検討委員会の体制と目的は。

**市長** 市内の医師、行政区長、公募委員、学識経験者など8名で構成する。市内の医療機関の運営は、医療制度改革による医療費抑制や市民の医療ニーズの多様化等で経営状況の悪化が予測され、医師の確保も困難になることから、今後の医療供給体制について検討することを目的とする。

## 西海市職員の勤務状況を知るべき

**問** 平成29年度において、最も多く時間外勤務をした職員の時間外勤務手当額および時間外勤務時間数は。

**市長** 年間で時間外勤務の最高支給額は161万円、時間数は524時間である。

**問** 職員のメンタルヘルスケアや高額残業費に対する市民感情も含め対策は。

**市長** 職員援助プログラム相談事業や臨床心理士・産業医との面談を実施している。午前1時や2時まで勤務する実態を初めて知った。確かにこれは正常ではない。早く是正する。



ひらいみつひろ 議員  
平井 満洋

## 大串横浦地区立石墓地道路整備検証について

**問** 最終的に法定外公共物と位置付けられるような道路に、約500万円もの費用を投じたことに関し、市民が納得できる答弁を求めらる。

**市長** この道路は、大串浄化センター建設に伴う同施設への取付道路建設計画が二転三転する中で浮上してきた事業である。

取付道路のルート等をめぐり、旧西彼町と関係住民の方々の間で幾度となく協議が行われ、最終的にこの墓地道路を用地の確保が出来次第着手することで決着し、平成16年6月、その旨を確認する覚書が締結され、旧西彼町の事業として実施することが決まったところであった。

合併後、西海市の事業として実施することになり、この事業の予算を審議した平成25年第2回定例会において、「事業費が過大ではないか」「他の地域の例にならって、原材料費等の支給方式で実施すべき。」な

ど、様々な議論があったことも事実である。ただ、市が直接施行する事業である限りは、通行の安全性や完成後の安定性について、市として責任を持つ必要性があり、事業費の抑制を念頭に置きつつも、国が定める土木工事設計要領等に従って設計し、その結果5024万9000円という、費用対効果について現時点では疑問の残る事業費になった。

また、この道路は現在、法定外公共物と位置付けて、通常の維持管理については地元の関係住民の方をお願いしている。

道路の規格上は市で施行した他の道路と変わらないが、その利用は少数の墓地関係者等に限られており、利用機会も限定的であるところから、市で管理することは不相当として、地元と協議の上、法定外公共物として取り扱うこととなっている。



疑問の残る墓地道路整備



# 一般質問



改修される馬込川（大島町）



清水 正明 議員

## 普通河川・馬込川（大島町）の改修工事について

**問** 測量・設計が今年度の一般会計に計上されている。大島造船所が真砂地区を造成するが、その後、計画されている開発水路に関わるとのことであれば工業団地整備特別会計で実施すべきでないか。

**市長** 普通河川馬込川整備事業は、同特別会計にて計画されている開発水路の上流に位置しているため、一般会計予算において実施する。

**問** 3月定例会の予算決算常任委員会において、当河川改修が開発水路と連携しているとの答弁があったと認識しているが。

**副市長** 馬込川は、元々の川底をさうとか、横を上げる必要があり、開発水路に関連した改修計画ということではない。

**建設部長** 馬込川については以前から護岸が悪く、改修工事の必要性があると考えていた。3月定例会の予算決算常任委員会でもそのような意図で答弁した。

**普通河川・轟川（西海町）改修工事について**

**問** 普通河川・轟川の改修工事が現在中止されているが、全体計画はどのようなになっているか伺う。

**市長** 平成22年に行政区長からの河川改修要望を受け、県道西彼太田和港線を挟んだ上下の普通河川の測量設計業務を実施した。全体計画延長304メートルのうち、平成24年度から平成29年度までの6年間で、県道から下流側の田畑が耕作されている普通河川の整備を事業費約6300万円で延長244メートルを施工している。未整備区間として、県道から上流側の延長60メートルを残しているが、この箇所の河川周辺は、田畑が耕作放棄地となっており、県道にも支障がない状況であることから事業を中止しているところである。



朝長 隆洋 議員

## 市内スポーツの振興を

**問** 市内小学校の社会体育活動、中学校のクラブ活動は、部員数の不足により各分野のスポーツ活動が、今後継続できなくなってくるのではないかと危惧されている。その実態の把握と各協会、教職員、外部指導者及び選手への支援体制の構築を行わなければ、たちまち全ての競技が衰退していくことは明らかである。どのように取り組むのか。

**教育長** 小学校の社会体育活動に所属している児童数は、平成22年度と平成29年度の小学校の人数は1065人から517人に減少しており、チームの数も60から36へと減少している。現在のクラブチームの質を保障するとともに、競技人口を増加させるため、体育協会と連携し、各スポーツ協会・地域・保護者の力を借りる方策を検討していく。

中学校の部活動でも部員数の少ない部も大会に出場できるよう、県中体連の複数校合同チーム編成規定を活用していきたい。その際には、合同で練習

する場合は輸送手段や活動時間の確保などを考慮し、少人数でも活動できる環境づくりを支援していく。

**問** 10年前から、こうなることを予測し、手立てを講じるようと言ってきたが。

**教育長** 現状では、あまり進んでないと考えられる。学力向上も大切だが知徳体の体も大きな目標として、腰を据えて取り組みたい。

**問** 指導者や大会運営は市民が無報酬で頑張っている。若い人たちが流出し、指導者も高齢化してきている。たちまち限界が来ると思う、意欲をもって支援すべき。

**教育長** 西海市子ども夢基金等を活用できないか、今後検討していく。体育協会加盟団体の方々の意見を聞き取り組んでいきたい。





# 一 般 質 問



議員 小 野 敏 雄  
さ か た お  
佐 嘉 田 敏 雄

## 基地周辺のまちづくり構想 及び支援事業について

**問** 防衛省のまちづくり構想支援事業及びまちづくり支援事業の採択に向けた取組を進める考えはないか。

**市長** 防衛施設を前提としたまちづくりを支援する事業であり、補助率も高く有利な補助事業である。どのような事業が実施できるか検討し、九州防衛局と詳しく協議したい。

**問** 基地周辺住民の事情を考慮し、公民館等の施設整備や市道改修、側溝の整備等の生活環境の改善について、周辺地区との覚書又は協定書を取り交わす必要があると考えるが、市長の考えを伺う。

**市長** 地区からの要望と実情に配慮しながら行う。覚書又は協定書の取り交わしについては、地域と十分に協議していきたい。

**問** 基地周辺地区における集会所等の建設工事及び改修工事に係る補助率を見直す考えはないか。

**市長** 基地周辺地域の市民には多大な迷惑と心配をかけている状況で

あり、生活環境の保全に努める観点から、補助率の見直しを検討したいと考えている。

**総務部長** 西海町の行政区長会等でも内容等を十分に説明し、区長会及び地域の意向を把握し、補助率についても鋭意検討してまいりたい。



駐機しているLCAC

## 地方創生と若者の定住・少子化対策について

**問** 若者の定住促進に向け、若者が住みたくなるまちづくりの政策実現が最重要課題であるが、子育て世帯をはじめ、若者を対象とした定住奨励金制度などの制定により、人口増加を図る考えはないか。

**市長** 市外からの移住者のための空き家改修費補助、市内新婚世帯のための空き家改修補助などを実施している。住宅を新築する方への支援や定住奨励金制度なども含め、移住・定住につながる効果的な施策について検討していく。

## 西海医療福祉センターへの 検証について

**問** 民間移譲から7年、西海医療福祉センターの医療・介護・福祉サービス提供を、どのように検証しているのか伺う。

**市長** おおむね適正な法人運営に取り組まれているが、看護師スタッフ確保できず、入院患者を受け入れていないことも認識している。状況打開のため、福医会との定期的な協議を行い、移譲後の合意事項の順守、入院患者の受入体制の改善に努めるよう強く申し入れている。

## 医療を確保できる 公立診療所の開設について

**問** 市長は、昨年の第2回定例会で「10年〜15年後に医療空白地帯が発生し、その際には公立診療所建設の必要性が出ることを危惧している」と発言した。そのように認識しながら、なぜ財政的理由だけで、公立診療所開設の具体化がなされないのか伺う。



議員 内 野 繁 樹  
う ち の し げ き  
内 野 繁 樹

**市長** 公立診療所開設は財政的に困難だが、住民生活に必要不可欠な地域医療の確保は自治体の使命である。西海市医療検討委員会において議論を進め、地域の医師会との連携を図り、確保に努める。

**問** 地元医療機関等との連携強化、自治体が支援する仕組の構築など、地域医療の諸問題に特化した部署として、地域医療対策室を設置する考えはないか。

**市長** 地域医療の確保は、西海市の今後を考える上で避けては通れない問題である。医療に特化した部署の設置は、地域医療の方針、将来像をしっかりと捉えることができるので、前向きに検討したい。

その他の質問  
地区の活性化、市の活性化における若い力・能力の積極的活用に係る市の今後の関わり方について。





# 一 般 質 問



こじま としき 議員  
小嶋 俊樹

## 社会資本整備総合対策交付金と防災安全交付金は十分活用されているか

**問** この交付金は地域のインフラ整備や観光事業などに活用できるが、長崎県所管の事業はどの程度実施されているか。

**市長** 国道及び県道の補修改良、肥前大島港の整備事業などの財源として活用している。また、防災安全交付金は七ツ釜港及び面高港の高潮対策事業、瀬戸港、松島港改良などの港湾整備、国道、県道における法面落石対策、河川護岸、地すべり、急傾斜地対策などに活用されている。平成30年度予算において、市道橋梁の長寿命化、市営住宅建設及び改修、瀬戸及び大串処理区公共下水道事業などの財源として事業費の2分の1にあたる4億529万6000円を交付金として計上している。

**問** この交付金は非常に使い勝手がよく、事業残高が生じても関連事業に使用されれば返済の必要がない。今後の市の取組は。

**市長** 今後も市民の生命と暮らしを守る総合的な老朽化対策や防災・減災対策、生活空間の安全確保などに広く活用したい。

## ピクトグラム(絵文字・絵単語)の導入

**問** ピクトグラムは、今や私達の生活空間になくはならない存在である。地域の伝統文化や、観光、農業、水産、ブランド、地域自治会など独自のピクトグラムを制作導入できないか。

**市長** 空港や駅といった公共施設の案内標識などによく見られるピクトグラムは、どこに何があるのかを単純なイラストで示すもので、地域でこれを利用したら、大変重要なツールとなり得る。インバウンド(訪日外国人旅行)対策としても検討したい。



非常口を表すピクトグラム

## 新元号移行に向けての対策について

**問** 新元号の公表時期が改元1か月前、平成31年4月1日と想定されるが、短期間での準備を迫られる中、円滑な移行を目指すための対策を計画されているのか。

**市長** 国・県や他団体の動向を見ながら、該当事務の洗い出しやスケジュールの検討など、できることから随時取りかかる。新元号に移行した際、市民の皆様にご不便をおかけすることのないよう適切に準備を進める。

## 島の暮らし支援室の今後の取り組みについて

**問** 離島に特化する部署として大いに期待するが、これからの具体的な取り組みは。

**市長** 松島・江島・平島それぞれ課題に対して、関係・関連部署と問題解決に向けて共同・連絡・情報共有を密にして取り組むよう指示していく。



あさだ なおゆき 議員  
浅田 直幸

## 運転免許証返納者に対する施策について

**問** 西海市において、返納を後押しするような施策を実施する考えはないか。

**市長** 今後の返納状況、また他市町の施策及びコミュニティバスの運行等を考慮しながら、検討する。

## 崎戸町における行政区の町単位の今後について

**問** 自治会活動が厳しい状況になりつつあるが、市長の見解は。

**市長** 自治会の統合は地区住民総意のもとで自発的に行われるべきものであるが、人口減少が続く中で、自治会活動を維持して行くためには統合の選択肢も考えざるを得ない。





# 一 般 質 問



と う ら ひ こ  
戸 浦 善 彦 議員

**西海市民の安心安全な生活の確保と均衡あるインフラ整備について**

**問** これからの季節、大雨、台風が危惧される。現在、土砂災害防止法に基づいた土砂災害警戒区域等の指定を行うための基礎調査が市内各地で実施されている。災害発生のおそれがある区域（急傾斜地など指定区域も含む）についての対策を伺う。

**市長** 県事業を活用して計画的に対策工事を行っている。

**総務部長** 災害時に緊急かつ迅速に避難できる体制を構築していく。

**問** 西海市の港湾・海岸（護岸）が経年劣化で傷んでいる。港湾施設整備について、海辺の住民の安全確保と利便性の向上（上下水道、生活道路）のためどのような対策を講じるのか伺う。

**市長** 港湾施設の維持管理は、県港湾施設維持管理計画及び策定中の県海岸保全施設維持管理計画に基づき維持管理予定であり、今後県と協議を行いながら、港湾及び海岸施設の整備及び維持管理を進めていく。



長年の浸食で劣化し、沈下し、亀裂が生じて危険な護岸階段 いる港湾施設

**西海市の文化（歴史、図書館等を含む）・芸術等の振興策について**

**問** 西海市の文化・芸術の振興策について、どのように考えているのか

**市長** 西海市の文化活動の中心的な役割を担っている文化協会と教育委員会が果たす役割を明確にし、文化協会との連携を更に密にしながら、絵画展の開催、各種コンサート等の開催の支援等を通して大島文化ホールを市内芸術・文化活動の拠点施設と捉え、一層の活用促進、市民の皆様が芸術と触れ合う機会の創出とサービス向上に努め、文化・芸術の振興につなげていく。

## その他の質問

・市長の考える「西海市の均衡ある発展」について  
・「市長が掲げる教育の重点化」について



み や も と か ず あ き  
宮 本 一 昭 議員

**地域医療について**

**問** 地域医療の中核となる病院、医院が存在していない本市において、安心できる地域医療の充実は重要な施策の一つと考えるが、救急搬送体制や医師の不足が懸念されている状況を踏まえ、今後の対応策について伺う。

**市長** 今後、民間の診療所の減少が想定される。市内の医療供給体制を構築するため、西海市医療検討委員会での検討を進めていきたい。救急搬送の時間がかかっていることは、西海市の医療における一番の課題である。救急時、長崎市、佐世保市の救急病院への搬送時間短縮に努めているところである。救急搬送体制については、国道206号線沿いの広域消防の増設について、まずは、担当者レベルで協議していきたい。

**問** 有人離島を抱える本市において、一次医療機関と二次医療機関との連携の体制は充実しているか。

**市長** 島外への転院等が必要となった際、患者受入体制について

二次医療機関である佐世保総合医療センターなどの病院群輪番制病院と連携している。老朽化した施設の計画的な整備と必要な医療機器の更新を図りながら、国保直営診療所として維持運営し、医療の確保に努めている。

**地域コミュニティ交通について**

**問** 市には、交通空白地帯が存在している。公共交通がない地区、辺地や高齢化率が高い地域への対応について伺う。

**市長** 交通空白地帯の対策として、3地区で実施している乗り合いタクシーの運行形態を、定時定路線の運行から、より利用しやすい玄関先から目的地までのドア・ツー・ドア方式へ見直しを行う考えである。旧町単位で登録制を導入し、予約受付等について、新たな地域公共交通システムの構築を早急に進めていく。



## 全国市議会議長会表彰状伝達式

平成30年5月30日（水）に開催された第94回全国市議会議長会定期総会において、表彰状贈呈式が執り行われました。本市議会より2名の議員が表彰を受けられ、6月8日の定例会本会議終了後表彰状伝達式が行われました。

議員15年以上 中里 悟 議員  
議員10年以上 淵瀬 栄子 議員

(写真・前列右から)



## 防衛問題ミニセミナーが開催されました。

7月11日、大瀬戸コミュニティセンターにおいて、九州防衛局による「防衛問題ミニセミナー」が開催されました。

九州防衛局 岩田和昭企画部長より、我が国を取り巻く安全保障環境の現況や在日米軍及びL C A Cの役割についてお話しいただき、参加した議員及び職員は熱心に耳を傾けました。

セミナー終了後、議員は西海町横瀬郷のL C A C駐機場の視察を行い、L C A Cの運用状況について当駐機場の司令官から説明を受けました。



# あなたも傍聴してみませんか？

西海市議会の本会議は公開されており、どなたでも自由に傍聴できます。

1：場 所 本会議場（西海市議会本庁舎3階）

2：人 数 60人

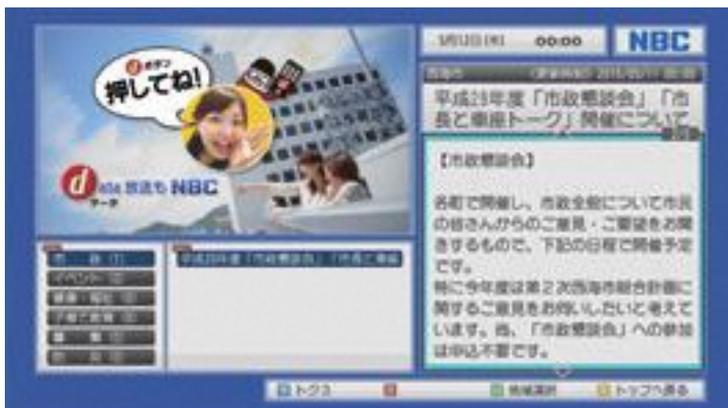
3：受付場所 本会議場前傍聴受付

- ・受付の際、所定の用紙に住所氏名等を記入して頂きます。
- ・会議開始前から受付を開始し、会議中も随時受け付けます。

# 西海市の情報をテレビ画面上で確認できます！

地上デジタルテレビのチャンネルをNBC長崎放送に合わせてリモコンの@ボタンを押すと、いつでも手軽に西海市が発信する情報を見ることができます。テレビの地デジ化が完了し、長崎県内で地デジの電波が受信可能な場所であれば、無料で閲覧が可能です。(実施している他自治体の情報も閲覧可能) 配信時のアクセス

集中による通信障害の心配もありません。6項目に分けてくらしに役立つ情報を発信していますが、**議会定例会前には議会の日程や市政一般質問の登壇順、質問項目なども発信しております。**  
ぜひ活用ください。



①チャンネルをNBC長崎放送に合わせてリモコンのdボタンを押す

②「自治体情報」を選択し、リモコンの緑のボタン「地域選択」を押した後「西海市」を選択

③6項目から1項目選択

④確認したい内容を選択すると右側に詳細が表示される



大島町在住

村田 利夫

『地域は如何にして  
生き残れるか』  
『企業誘致の  
ための一方策』

西海市の最も最重要課題の一つとして、人口減少対策が掲げられていると思います。その解消策として、企業誘致による就業機会の創出が挙げられると思いますが、全国の自治体でも誘致活動を実施しているものの、その成果はなかなか厳しいものと推察されます。

ある新聞記事の中で、実際取り組んでいる自治体の具体的な取組の内容が私にとっては大変新鮮で



あり、理屈抜きに功を奏するのではないかと感銘を受けました。

その内容は、岩手県北上市において、市職員に経済新聞の企業情報をチェックさせ、工場新設や増産による設備投資の計画があると、市長自ら上京し、会社幹部に進出を直談判し、企業の誘致活動を行ったそうです。

その結果、40年前に7万人の人口が9万3000人となり、進出企業は270社を超えたそうです。

市長には指導者として、今後益々市政への取組を十分発揮されますよう期待しております。

郵便はがき

857-2392

郵送される  
場合は62円  
切手を貼って  
下さい。

長崎県西海市大瀬戸町瀬戸檜浦郷2222番地

西海市役所 議会事務局  
「議会広報広聴委員会」行

(議会だより第51号)

裏表紙に

西海市議会クイズが  
あるよ！議会だよりを  
よく読んで解答してね！



# 第7回 西海市議会クイズ

## ヒント

答えは全て本誌の中にあります。誌面をよく読んでお答えください。

(1)平成30年第2回西海市議会定例会で審議された議案等のうち、報告案件は何件？

- ① 4件 ② 14件 ③ 24件

(2)6月補正予算後時点の合併特例債の発行可能額は？

- ① 212億5840万円  
② 198億9641万円  
③ 21億1490万円

(3)西海市内の一般診療所数は？

- ① 4か所 ② 14か所  
③ 24か所

(4)第94回全国市議会議長会定期総会において表彰された西海市議会議員の人数は？

- ① 1名 ② 2名 ③ 3名

## 応募方法

下のがきを切り取り、各問題の回答欄に答えの番号を記入し、郵便でお送りいただくか、お近くの総合支所又は市役所本庁議会事務局へご提出ください。

## 締切

平成30年9月7日(金)消印有効(7日支所提出分まで有効)

## 特典

全問正解者の中から抽選で5名の方に、QUOカード(10000円分)をプレゼントいたします。なお、当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。

## 「個人情報」の取扱いについて

ご記入いただきました個人情報、賞品発送などの目的以外には利用いたしません。



## 編集後記

昨年の西海市議会議員一般選挙からはや1年3ヶ月が経ち、新体制での定例会は述べ5回行われ、日頃の活動とともに、それぞれの議員がよりよい西海市をつくる活動に日々まい進しているところですよ。

本市における問題は山積しており、多くのことに取り組まなければなりません。医療供給体制の早期構築もそのひとつだと考えます。市民の安全・安心を守り維持していくことが行政の一番の務めであり、方向性を見極めた早急な取組が必要だと思われれます。我々市議会議員も、市民の皆様や議員相互の意見交換をはじめ、先進地の考察なども行いながら、これら諸問題の解決に向けて活動を続け、誰もが住みよい西海市を目指したいと考えています。

(内野 繁樹)



議会広報広聴委員会

## 第7回西海市議会クイズ回答

(1)	(2)	(3)	(4)
-----	-----	-----	-----

ふりがな

氏名

住所

年齢 歳

議会だよりについての感想またはご意見